

【単元目標】 割合、百分率の意味を理解し、それらを用いて、2つの数量の関係と別の数量の関係を比べたり、比較量や基準量を求めたりすることができる。

【単元に関わる既習内容】
 3～4年「倍とかけ算、わり算」
 ・比較量を求める乗法
 ・何倍かを求める除法
 ・基準量を求める除法
 ・簡単な場合の割合
 4年「小数と整数のかけ算、わり算」
 ・小数倍
 5年「小数のわり算」
 ・小数倍と乗法、除法の関係

【単元がつながる内容】
 5年「帯グラフと円グラフ」
 6年「比」

割合に対する理解を深める授業

<p>⑨歩合の意味とその表し方 歩合の意味とその表し方を理解し、割合を歩合で表すことができる。【知】 割合を表す小数0.1を1割と表すことがあり、このような割合の表し方を歩合という。</p>	<p>⑩たしかめ問題 基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。【知】</p>
--	---

割合の使い方について知る授業

<p>⑤比べる量の求め方 比較量は、「基準量×割合」で求められることを理解し、求めることができる。 【考】〈本時〉 比べる量は、「比べる量=もとにする量×割合」の式で求めることができる</p>	<p>⑥もとにする量の求め方 比較量と割合から、基準量を求める方法を理解し、求めることができる。【考】 もとにする量を求めるときは、もとにする量を□にして、比べる量を求めるかけ算の式に表すと求めることができる</p>	<p>⑦2段階思考の割合の問題解決① 比較量の割合を求め、基準量とその割合から、比較量を求める方法を理解することができる。【知】 割引された後のねだんを求めるには、定価の何パーセントにあたる金額を求めて定価から引くか、定価の何パーセント引きが割合でいくつになるかを求めて定価にかければよい。</p>	<p>⑧2段階思考の割合の問題解決② 比較量の割合を求め、比較量とその割合から、基準量を求める方法を理解することができる。【知】 割引前（定価）のねだんを求めるには、定価のねだんを□として、定価の何パーセント引きが割合でいくつになるかを求めて定価にかければよい。</p>
---	---	--	--

【児童の実態】
 ○「小数のわり算」の学習では、2つの数量の関係を数直線で表し、「もとにする量」や「何倍にあたる大きさ（比べる量）」、「何倍（割合）にあたる量」を見出して立式し、計算して求めることができた。
 ●筋道立てて自分の考えを話すことが苦手な児童が多い。
 ●仲間の考えにじっくりと耳を傾けることのできない児童が多い。そのため、仲間の考えと比較したり繋げたりして発言することに弱さが見られる。

割合と百分率について知る授業

<p>①・②割合の意味と求め方、表し方 2つの数量の関係どうしを比べる場合に割合を用いる場合があることを理解し、割合を小数で求めることができる。【知】 2つの数量の関係を比べるときは、もとにする量を「1」とみて、「割合=比べる量÷もとにする量」で求めることができる。</p>	<p>③百分率の意味と表し方 「パーセント（%）」、「百分率」の用語や意味を理解し、割合を百分率で表すことができる。【知】 割合を表す数0.01を1パーセントといい、1%と書く。このような割合の表し方を百分率という。</p>	<p>④1より大きい割合の表し方 割合が1より大きい場合に、その割合を百分率で表すことができる。【知】 比べる量がもとにする量より大きいとき、割合は100%よりも大きくなる。</p>
--	---	--

【単元後の児童の意識】
 ・割合や百分率について知ることができた。
 ・割合や百分率を使えば、2つの数量の関係や別の数量との関係を比べたり、比べる量やもとにする量を求めたりすることが分かった。
 ・日常生活の中で、割合が使われている場面が他にもないかどうか、調べてみたい。

◆本時のねらい 割合, 比較量, 基準量の関係に着目し比較量の求め方を考える活動を通して, 「比べる量」は「もとにする量×割合」で求められることを理解できる。

◆本時の展開 (5/10) <すらすらコース>

	学習活動と児童の姿	◇指導の工夫 ○研究にかかわって
つ か む	<p>1 素材提示</p> <p>○果汁20%の飲み物500mlを④450mlと⑤50mlに分け, ④と⑤を比べてちがうこと, 同じ(変わらない)ことを考えさせる。</p> <p><ちがうこと> 飲み物の量 <同じこと> 飲み物の味(濃さ)</p> <p>2 問題提示(1) (P161 問題1)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>果汁が20%ふくまれている飲み物があります。 この飲み物450mlには, 何mlの果汁が入っていますか。</p> </div> <p>○数直線を書いて, 「もとにする量」「比べる量」「割合」を明らかにする。 ・割合・・・20%。・もとにする量・・・飲み物の量450ml。・比べる量・・・果汁の量。</p>	<p>◇全国学テの結果を受けて, 飲み物の量が変わっても果汁の割合は変わらないことを確認する。</p> <p>◇数直線を使って, 飲み物の量のもとにする量であることを確認する。</p>
考 え る	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>比べる量の求め方を考えよう。</p> </div> <p>4 個人追究<選択①></p> <p>①自分の考えをノートに書く。 ②仲間と交流しながら考える。</p> <p>・「割合＝比べる量÷もとにする量」を使って, 式を変形する。</p> $0.2 = \square \div 450$ $\square \div 450 = 0.2$ $\square = 0.2 \times 450$ <p>・数直線から考えて, もとにする量を「1」としたとき, 「1」から「0.2」にするには0.2倍する。同じように, 450mlも0.2倍すればよい。</p> $450 \times 0.2 = 90$ <p style="text-align: right;">答え: 90ml</p>	<p>◇必要に応じてロイロ・ノートのヒントカードを使えるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> </div> <p>◇自分の考えをもつための方法をそれぞれ選択する。</p> <p><選択①></p>
深 め る	<p>5 全体交流</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><深めの発問> 人によって求め方は違うけど, 答えが90mlになったのはなぜか。</p> </div> <p>・どの考え方も, 450と0.2をかけている。 ・言葉の式に直すと, 「もとにする量×割合」の式になる。</p>	<p>○①②の選択で自分の考えをつくった後, ノートに考えをまとめてロイロ・ノートで提出させる。</p> <p>○まとめには①課題に対するまとめと②自己選択の振り返りを書かせる。</p>
ま と め る	<p>6 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①比べる量＝もとにする量×割合 ②○○さんの説明で, ～が分かった。次は□□で考えたい。</p> </div> <p>7 評価問題(P162鉛筆問題2)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>800mlの水を入れることができる電気ポットに, 30%のところまで水が入っています。何mlの水が入っていますか。</p> </div> <p>・式: $800 \times 0.3 = 240$ 答え: 240ml</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価規準</p> <p>「割合」「比較量」「基準量」を明らかにし, 「比較量＝基準量×割合」の式に基づいて「比較量」を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・発言の内容 ・ノートへの記述</p> </div> <p>○<選択②></p>
	<p>8 練習問題<選択②> Gifu ウェブラーニング</p>	<p>①今日の問題(本時の復習) ②復習の問題(前時までの復習) ③チャレンジ問題(発展問題)</p>